

## 平成 28 年度「生涯活躍のまち」調査研究報告書の主なポイント

### 1 東京圏の中高年に対する大分県への移住希望調査

- ・東京圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)在住で地方移住に興味を持つ 40～60 代の男女 1,500 人にインターネット調査を実施。

#### 【主な調査結果】

#### ①地方暮らしで理想とするイメージ

自然に囲まれた中、広い戸建て住宅で家庭菜園やガーデニングなどを楽しみながらゆったり暮らしたいとのニーズが高かった。

#### ②住宅費用(リフォーム費用含む)

500 万円未満とする回答が約4割であった。

#### ③移住先を選ぶ際に重要な条件

生活費の安さ、病院や公共施設、生活インフラ等の生活利便性、自然や温暖な気候、治安の良さなど、暮らしやすい住環境を挙げる方が多かった。

#### ④移住先として「大分県」に興味を持っている方

「非常に興味がある」3.8%、「やや興味がある」22.9%、合計 26.7%であった。

### 2 経済波及効果と地域負担の検証

- ・上記ニーズ調査結果から、大分暮らしに非常に興味を持っている方を5年間で 570 人呼び込むと仮定し、50 年間の経済波及効果及び地域負担を試算。
- ・試算の結果、移住者の消費活動による経済波及効果は約 184 億円となり、医療・介護給付費の財政負担及や県民が負担する保険料等の合計約 70 億円を大幅に上回った。
- ・将来的には若干の介護人材等の不足が見込まれることから、介護職のキャリア形成、介護ロボット導入による効率化なども検討していく必要がある。

### 3 今後の方向性

- ・既に「生涯活躍のまち」の地域再生計画認定を受けている別府市、旧高校跡地での「生涯活躍のまち」推進を検討している豊後大野市など、県内市町村でも「生涯活躍のまち」推進に向けた動きが活発化している。
- ・各地域での検討状況や分析結果を勘案すると、大分県における「生涯活躍のまち」の目指す姿として、①既存施設を活用した医療・福祉との連携による「生涯活躍のまち」の環境づくり、②地域資源を活用したアクティビティ要素のブラッシュアップ、③まずは地域住民が活躍し安心して暮らし続けられる魅力的な地域づくり、の3点が挙げられる。
- ・今後産学官連携による推進母体の設置や、理解促進と機運醸成に向けたセミナー開催等に取り組み、「生涯活躍のまち」推進に意欲的な市町村をこれまで以上に支援していく必要がある。